

# 土成中学校少年少女消防隊

○発足年月日 昭和34年4月

## 1 活動方針

○生徒の防火・防災意識を高め、規律訓練により機敏な集団行動を可能にし、将来、防火・防災に役立つ人材を育成する。

## 2 活動内容

○組織編成：本校、運動部に所属する生徒26名を選抜して、消防隊を編成する。  
 (隊長1名、副隊長1名、消火班1線6名、消火班2線6名、伝令6名、救護班4名、電源2名)  
 ○主な訓練：屋内消火栓による初期消火訓練

## 3 活動の歴史 (毎年1月：出初め式に参加・避難訓練での想定消火訓練)

昭和34年 4月	旧土成中学校時に少年消防隊が発足する
昭和37年 4月	統合土成中学校後も少年消防隊の活動を継続する
昭和38年 3月	消防片長官賞を受賞する
昭和46年 3月	全国少年消防隊優秀賞を受賞する
平成元年 3月	消防片長官賞を受賞する
平成3年 5月	救護班(女子)を編成し、少年少女消防隊に改称する
平成16年 5月	出初め式に参加が、本年度終了する
平成17年 8月	阿波市総合防災訓練で消防署・消防団と共に消火訓練をする
平成21年 7月	第17回ヨーロッパ青少年消防オリンピックに参加する
平成22年 3月	消防片長官賞を受賞する
平成24年 11月	阿波市総合防災訓練で消防署、消防団、自衛隊と共に消火訓練をする
平成25年 8月	西日本少年消防クラブ交流会に参加する
平成27年 3月	特に優良な少年消防クラブ(総務大臣賞)を受賞する



(少年少女消防隊：26名)



(西日本交流会に参加した隊員：6名)

## 4 活動の成果と課題

### ○成果

- ①土成町消防団員及び地域消防署員として、卒業生が活躍している。
- ②初期消火訓練により、屋内消火栓の使い方を全校生徒に知らせることができている。
- ③声の連携だけでなく、点呼や手信号、誘導動作の大切さがよくわかる。
- ④消防署や消防団の仕事の内容がよくわかる。

### ○課題

- ①消防団(消防署)との協力・連携が長期休業日中に限られる。
- ②指導教師の研修・引き継ぎ。
- ③生徒が複数の部活動の代表者なので、練習日に全員の参加が難しい。



(総務大臣賞を受賞し代表謝辞を述べる26年度隊長)